

I D : @PATIENTID @USERSECTION

氏 名 : @PATIENTNAME

生年月日: @PATIENTBIRTH2

性 別 : @PATIENTSEXN

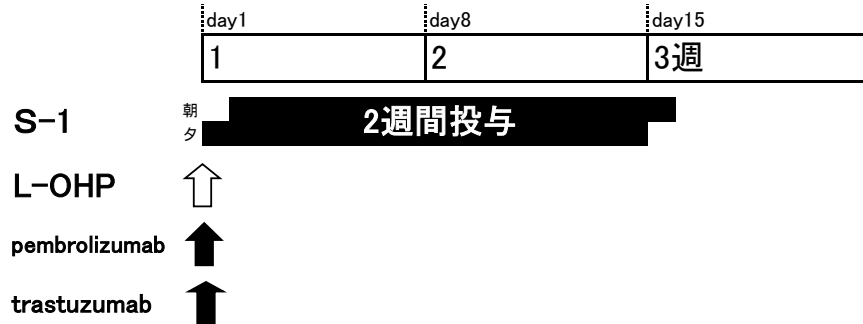
綾部市立病院 化学療法
標準プロトコル／治療計画書 [No.403]
当レジメンの2024年度実施状況: 0 件

胃 pembrolizumab+trastuzumab+SOX

<対象>

CPS $\geq$ 1、かつHER2陽性の治癒切除不能は進行・再発の胃癌

<標準プロトコル>



S-1: 14日間(分2・夕開始)連日経口投与、7日間休薬

<患者情報>

身長 \$HEIGHT cm 体重 \$WEIGHT kg 体表面積 \$BSA m²

<使用薬剤・投与量>

S-1

体表面積	1回用量 / 1日用量
1.25m ² 未満	40mg/回 / 80mg/日
1.25~1.50m ² 未満	50mg/回 / 100mg/日
1.50m ² 以上	60mg/回 / 120mg/日

朝・夕
2回

オキサリプラチン 130mg/m² ⇒ mg

ペムブロリズマブ 200mg/body ⇒ 200 mg

トラスツズマブ 初回 8mg/kg ⇒ mg

2回目以降 6mg/kg ⇒ mg

<治療計画> ※使用する対象を下記から選択して下さい

☐ 切除不能進行再発

開始 年 月 日 ~ 治療に対して不応または不耐まで

主治医

指導医

<注意点>

KEYNOTE 811 試験では

- ・L-OHPの投与期間は6または8サイクルに限定可能
- ・pembrolizumabの投与期間は最大35回(2年)であり、それらの症例はtrastuzumabとcapecitabineを追加で最長1年間投与可能であった。

主治医の先生へ) 治療開始時に患者情報・治療計画を記入し、薬剤部まで提出してください。